

大分市地域公共交通利便増進事業について

地域公共交通利便増進事業とは、地方公共団体が中心となり、路線ネットワークにとどまらず、運賃やダイヤ等の見直しも含めた利用者の利便の増進に資する取組を通じて、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保を図る事業。

1. 事業概要

鉄道や路線バスなど、交通事業者間の連携や交通事業者と行政の連携、地域の特性にあった具体的な利便増進に資する取組等を調査・検討し、令和6年度以降の「大分市地域公共交通利便増進実施計画」策定を目指す。

2. 目的

利用者の利便性向上とともに、効果的な交通事業者間の連携などにより、持続可能な本市地域公共交通ネットワークの確保・維持を目的とする。

3. 令和5年度事業内容（※令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用）

◆ 交通事業者間連携の可能性について調査・検討

- ①鉄道とバスの接続や連携する際の課題整理
- ②地方公共団体の支援のあり方に関する整理
- ③大分市の特性にあった具体的な利便増進に資する取組の整理

◆ 公共交通の現状、利用実績の把握・分析

- ①系統や便数、交通系 IC カード等から利用実績等の整理・分析
- ②利便増進事業におけるニーズ把握のため、アンケート調査を実施

→令和6年度のモデル運用（案）及び利便増進事業の実施方針（案）の検討を行う

4. 今後のスケジュール

（R5年度）事業者間連携の課題や公共交通の利用実績を整理し、利便増進事業の実施方針について、調査・検討を行う。



（R6年度以降）令和5年度の調査・検討を踏まえ、大分市地域公共交通利便増進実施計画の策定を目指す。